

# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### 日常生活の全てがリハビリテーション

橋本病院の回復期リハビリテーション病棟は、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護士・社会福祉士・管理栄養士などの多職種が病棟に配属され、常に患者様と職員が生活の中で関わりを持っています。

リハビリテーションのイメージは、「ベッド上での運動」や「歩く」という様なイメージをお持ちの方もいるかもしれませんが、日常生活の中では「ただ目的もなく歩く」という事はあまりありません。人は自らの意思で「目的を持った行動」をします。



調理練習



下膳の動作練習



例えば、「食べる」「トイレに行く」という欲求が生まれ、その場所に行くために歩き、手や足の機能を使ってその目的を達成します。運動麻痺などで手足が不自由となり、思い通りに目的が達成できない場面を病棟配属の職員が直接確認して、その動作ができる様に介助したり、補助具などを使って自分の意思に近づける様に支援をし、その動作を反復練習する事が最も効果的なリハビリテーションとされています。

「できる」を生み出し、  
「もっとこの身体を使いたい」  
「もっと〇〇したい」などの思いを引き出し、  
患者様がどんどん前に向いて行ける様に職員と力を合わせて日々頑張っています。



### 回復期リハビリテーション病棟での看護の役割

安全なリハビリを行うためには、患者様の状態を把握することが大切です。

病気の影響から自発的に訴えることが難しい患者様もいるため、熱や血圧の測定、食事摂取量の低下がないかなど、全身状態の観察を行ってリハビリがスムーズに行えるようにしています。

リハビリで獲得した機能を生かして、看護・介護職と一緒にトイレまでの歩行や入浴などを行っています。血糖測定、インスリン自己注射指導、内服管理指導、酸素管理指導など、在宅生活に向けて自己にて行えるように指導をしています。

また、入院中に患者様や家族様に不安や悩みをお聞きし、退院後の自宅での生活が不安なく過ごせるように他職種で協同し不安の軽減ができる対応策を提案しています。



#### <病棟目標>

- ① ADLの向上
- ② 寝たきり防止
- ③ 家庭復帰・社会復帰



リハビリテーション病棟には様々な専門職がありますが、患者様と24時間関わり、一番近くでサポートできるのは看護師や介護職です。リハビリで獲得した事を、病棟で繰り返し練習し習慣化していく事、患者様の思いに寄り添い希望する生活へ少しでも近づけていく事など、看護師の担う役割が大きいです。

## 認知症治療病棟

### 認知症を知る

### “前頭側頭型認知症”について



#### 1) 前頭側頭型認知症とは

脳の前頭葉（人格や理性的な行動、社会性）と側頭葉（言語の理解や記憶の処理）が萎縮し、血流が低下することで様々な症状が引き起こされる病気です。初期には物忘れよりも人格変化や非常識な行動が目立ってみられます。



#### <初期>

- ① 自発性の低下
- ② 抑制がきかない
- ③ 食事や嗜好の変化
- ④ 感情の麻痺

#### <中期>

- ① 同じ事を繰り返す
- ② 立ち去り行動
- ③ 影響を受け易く反復する

#### <後期>

- ① 精神機能の衰退
- ② 寝たきり



経過と症状： 初期から行動の異常や人格の変化がみられ、経過によって出現する症状が変化します。

#### 2) 関わる時には

- ① 病気であることを理解する
- ② 症状の特徴を上手く利用する
- ③ 落ち着いて過ごせる環境を整える
- ④ 食事や行動の変化に柔軟に対応する
- ⑤ 出来る事は出来るだけ行ってもらう

買い物の際に計算ができない… 家が見つからない…  
最近 食事がすすまない… 認知症外来を受診される方は  
家族様の気付きによって判明することが多い傾向  
にあります。早期の受診が認知症の進行を遅らせる  
重要なカギとなりますので、上記の症状に心当  
たりのある方はいつでもご相談ください。



## 放射線部

### X線撮影時の被ばく量低減に取り組んでいます

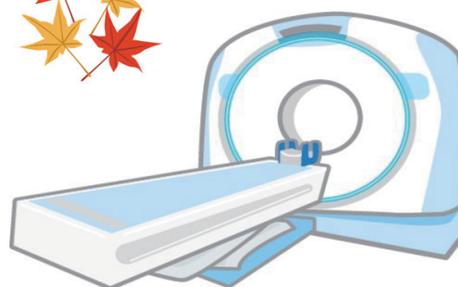
一般的にたくさんのX線で検査すると、写真はきれいに映る傾向があります。逆に量が足りないとざらざらとした写真になります。

しかし、ある一定量を超えたX線で検査を行っても見えるものは大きく変わりません。そこで、当院では診断に必要なきれいな線量を見極め、患者様への不必要な被ばくを極力低減できるように取り組んでいます。

国内の病院の被ばく情報を元にした参考値（DLP）があります。

当院は国内の病院の参考値をクリアしています。

被ばくのデータ（CT装置）を収集し、見直しの為の参考データを元に撮影方法、撮影範囲の見直し等を定期的に行うことで不必要な被ばくを低減することができています。



以下が、2020年度と2021年度の当院の結果です。  
（数字が少ないほうが放射線量は少ない）

2020年度→2021年度 DLP（頭部：1299.5→**1280.3**）  
※頭部の国内参考値：1350  
DLP（胸部：321.6→**304.9**）  
※胸部の国内参考値：510



## 橋本病院指定居宅介護支援事業所

### 避難行動要支援者支援制度について

この制度は、災害時に自ら避難することが困難で特に避難支援を必要とする高齢者や障害のある人等（避難行動要支援者）が、災害時に地域社会の共助による避難誘導などの支援が受けられるような体制を整備することを目的としています。

#### 避難行動要支援者の対象となる人は？

- 1 介護保険法に基づく要介護3から5の認定を受けている人
- 2 身体障害者手帳の交付を受けている障害の程度が1級又は2級の人
- 3 療育手帳の交付を受けている障害の程度がA又は㊤の人
- 4 精神障害者福祉手帳の交付を受けている障害の程度が1級の人
- 5 75歳以上の独居世帯又は、75歳以上の高齢者のみの世帯の人
- 6 上に掲げる該当項目に準ずる状態にあり災害時の支援が必要と認められる人



#### 次の場合は対象となりません

- ☆ 福祉施設などへ入所している人、長期入院をされている人
- ☆ 避難等において家族などの支援が受けられる人
- ☆ その他（自ら避難することができるため、特に避難支援が必要でない人等）



## ソーシャルワーカー部

### 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））



私たちは、色々な選択をしながら生活をしています。例えば、今日のお昼ご飯をうどんにしようか？ ラーメンにしようか？ といったささやかな事から、就職や結婚などライフイベントにおける大きな決定など、日々繰り返し選択をしながら生活をしているといっても過言ではないのかもしれませんが。

さて、病院という命に関わる場所では、今まで想像もしていなかったことに直面し、余裕もないまま重大な決断を迫られるといった場面が多く訪れます。また、急な病気やケガで命の危機に迫った状態になると約70%の方が、これからの医療やケアについて自分の思いを伝えることができないと言われており、患者様の代わりにご家族が苦渋の決断をされる方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。当院においても、急変時の対応や栄養摂取方法（経鼻経管栄養や胃瘻など）についてどうするかその選択に悩まれるご家族が多くいらっしゃいます。

近年、大切にしていることや希望、どのような医療やケアを受けたいか前もって信頼する人たちと話し合い思いを共有していこうという取り組みがなされています。その取り組みを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」といい、政府はACPの愛称を「人生会議」と決めました。人生の最終段階において、自分の思いや希望が反映された選択ができるように、一度「人生会議」について考えてみませんか？

- ① 治療したい時に大切なことを考えましょう。
- ② あなたの思いを伝えてくる人を選びましょう。
- ③ かかりつけ医に質問をしましょう。
- ④ 希望する医療やケアについて話し合いましょう。
- ⑤ 話し合った内容を書き留めましょう。



積極的な治療はしたくないな。

できるだけ家で過ごしたい。

## 通所リハビリテーションセンターはしもと

### 施設外リハ（お出かけリハ）

昨年度は香川用水記念公園やあじさい寺、ふるさと民芸館などに行きました。お出かけは一番の気分転換です。



センターで過ごすより、自然と長い距離を歩き、傾斜や階段も上ります。さらに懐かしいものや写真も見れば心身の賦活になります。

今年度は紅葉狩りなどを計画中です。

### お遍路チャレンジ

当センターでは運動促進を目的として、四国八十八カ所の巡礼を模して利用者様が屋外歩行や自主トレーニングを行うごとに、1カ所ずつ御朱印をお渡ししています。全て揃うと御朱印帳としてプレゼントします。

現在22名の方がチャレンジ中です。



先月、約4カ月をかけて、1名の利用者様が初めて達成されました！これから気候も涼しくなり、体を動かしやすい季節になっていきます。スタッフ一同皆様の健康をサポートしていきたいと思ひます。



**創作活動** 毎月利用者様とともに、壁面飾りを制作しています。立体的で迫力のある作品作りを心掛けておりどれも90cm×300cm～550cmの大作揃いです。パーツごとに皆さんで制作するため、制作中は作品の全体像がつかみにくいですが、完成して壁に貼るときは驚きと達成感がひとしおです。リハビリだけでなく、手指や頭を使う活動も取り入れながら、楽しんで行っています。



## 医療安全管理体制委員会

### 転倒・転落による骨折ゼロを目指して

今回は、当院での転倒・転落による骨折予防のための対策をご紹介します。

患者様の身体・精神機能は日々変化しています。予防のためには、状況に応じた居室の環境や、生活動作の介助量、歩行補助具などを適宜検討していくことが必要となります。

全体の取り組みや考え方として、各病棟や勉強会の場で**危険予知トレーニング (KYT)** を実施しています。

**K (危険) Y (予知) T (トレーニング)** とは、紙面や写真を使いながら「事実をつかむ」「本質 (原因) をさぐる」「対策をたてる」「行動計画をきめる」という流れでその場に潜む危険、それによりどういった事が起こり得るか、どのような対策が必要かを話し合います。KYTを実際に活用し、患者様の身体状況や生活動作を加味しながらお一人お一人に合った対策を考えます。

また、各病棟では「0レベル」と呼ばれる報告書を作成しています。転倒や転落に至らなかったが、それに直結する行動や環境にいち早く気づき、報告書に記入します。その内容は病棟スタッフに周知され、注意喚起や転倒転落を未然に防ぐための対策を話し合い、実施しています。

常に危険予測の意識を持ち、上記のような取り組みも行いながら転倒・転落による骨折ゼロを目指しています。



## 日本慢性期医療協会 研修参加優秀施設 表彰

このたび、橋本病院が「日本慢性期医療協会の研修参加優秀施設」として表彰されました。日本慢性期医療協会が開催する学会や研修会の参加人数に基づいて評価されているものです。

金賞、銀賞、銅賞がありますが、当院は「金賞」を受賞致しました。

地域医療において、より一層質の高い慢性期医療が提供できるよう、職員一同研鑽してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

### 第30回日本慢性期医療学会のご案内

会 期 2022年11月17～18日（木・金）

会 場 国立京都国際会館

テーマ COMMUNICATION FIRST  
「指示」から「連携」へ。  
「指導」から「理解」へ。

学会長 橋本康子（医療法人社団和風会 理事長）



## 日本慢性期医療協会 会長就任

日本慢性期医療協会は設立から今年で30年が経過しています。今年の6月30日、第47回通常総会において、14年の長きにわたって会長を務めた武久洋三先生が会長職を辞任され、名誉会長に就任されました。

そして、当法人 和風会 理事長 橋本康子が次期会長として就任することとなりました。

橋本康子会長は総会において、「慢性期医療の質を向上させることを日本慢性期医療協会の使命として活動していきたい」と所信表明し、さらに「介護力の不足は深刻な問題。解決方法は介護力を増やす事、要介護者を減らすことである。今後は、慢性期医療従事者が中心となってこの問題に取り組み、地域を支えるモデルを作っていくことが必要」と呼び掛けました。

慢性期医療の一端を担う当院においても、地域の方が住み慣れた地域に帰られるような医療、看護、介護、リハビリテーションを心掛けていきたいと気持ちを新たに致しました。

\* 詳しくは「日本慢性期医療協会ブログ」をご覧ください。



## 三豊中学校様よりお花の寄贈を受けました

### 三豊中学校様よりお花を寄贈していただきました



毎年「ふれあい看護体験」に参加していただいておりますが、今年も新型コロナウイルス感染防止対策のため、「ふれあい看護体験」は中止となりました。

コロナ禍の中、三豊中学校 生徒様より「患者様にお花を見て元気になってもらいたい」と、プランター8個を代表3年の環境委員長様から届けていただきました。改めて地域の皆様に支えられていると感じました。心より感謝申し上げます。



## 事務部

### ～インフルエンザ予防接種が始まります～

- ◆ 期 間 ◆ 2022年10月1日～2023年3月31日（予定）
- ◆ 対象者 ◆ 予防接種法に基づく定期接種の対象者は以下の通りとなります。
  - ① 満65歳以上の方
  - ② 満60歳から64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級）
- ◆ その他 ◆
  - ・ 予診票の配布方法は各市町村によって異なります。
  - ・ 他のワクチンとの接種をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。
  - ・ 詳細はお住まいの市町村までお問合せください。



### 《特定健康診査について》

- ・ 2022年度の特定健康診査の実施期間が**2022年10月30日まで**となっております。
  - ・ 診査は三豊・観音寺市の指定医療機関で受けることができます。
  - ・ 当院は**完全予約制**となっておりますので希望される方は、お手数ですがお電話でのご予約をお願い致します。
- 電話番号：0875-63-3311（代表）



### ◆ 後期高齢者医療被保険者証提示のお願い ◆

【後期高齢者医療被保険者証】の有効期限が2022年9月30日までとなっております。新しい保険証がお手元に届きましたら、受診される際に受付窓口までご提示をお願い致します。

## 新人研修・新入職員のご紹介

令和4年度入職식을4月1日2日26日の3日間に分けて開催しました。参加者は新入職者19名、中途入職者11名、計30名。

理事長 橋本康子より、病院コンセプトである「気づきの医療」について病院理念や基本方針などの話があり、新入職者としての基本的な心得や各部署及び委員会の役割についても学びました。

関連施設（川之江荘・とよはま荘・鶴亀ハウス）の見学は、感染対策の為 紹介映像を鑑賞しました。今年度も19名と多くの職員が橋本病院の仲間となりましたが、今後も回復期リハビリテーション病棟・認知症治療病棟を中心に、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めていきたいと思っております。

### 新入職者

看護師	2名
理学療法士	9名
作業療法士	5名
言語聴覚士	2名
管理栄養士	1名

### 入職式および新人研修

理事長挨拶  
辞令交付  
新入職者 紹介  
管理職挨拶  
病棟勤務の心得  
健康診断  
関連施設紹介  
入職手続き  
研修・講義



「標準予防策 ～感染対策の基本～」  
「B型肝炎について」  
「接遇・マナーについて」  
「働きやすい職場についての取り組み」  
「拘束・抑制・隔離について」  
「医療安全について」  
「片麻痺体験について」  
「コロナに関する知識①」  
「今後の院内感染対策②」  
「院内感染防止対策について」  
「施設基準とFIMマネジメント」 など

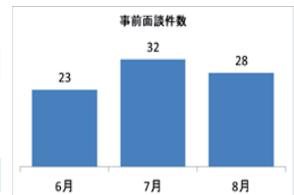


## 地域連携部

### ～ 事前面談について ～

当院へ安心してご入院頂くため、紹介元医療機関のご協力のもと、入院前のご説明と患者様の状態確認をさせて頂く事前面談を実施しています。お伺いする内容30分、お伝えする内容30分程度です。

<b>【お伺いする内容】</b>	入院前の生活状況	既往歴	リハビリ目標
<b>【お伝えする内容】</b>	入院生活について	入院の準備物	CSセットについて
	入院手続きについて	感染症対策	予約制面会について



### ○ 当院での回復期リハビリテーション病棟の疾患の種類と入院期間について ○

① 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
② 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折	90日
③ 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	90日
④ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日
⑤ 股関節または膝関節の置換術後の状態	90日

### 移動も安心のサービス

近隣の病院から転院される患者様は無料送迎をしております。



### 入院相談はお気軽にご連絡ください！

地域連携部 窓口：大西 宏美 電話：0875-63-3552（直通）



## 体操DVDを作成しています

ご自宅でも気軽に運動に取り組めるように、橋本病院独自の体操DVDを作成しています。

「入院中は動けていても退院すると家の中だし、あんまり動けていない」といった患者様・家族様の声が聞かれています。さらに、コロナ禍での外出自粛もあり、不活発になられた方も多いようです。その解消になればと思い、鋭意作成中です。

完成しましたら、退院される際に無料配布させて頂こうと考えています。



## 職員募集のお知らせ

募集

看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職

☆入職支度金制度あり



まずは、病院見学にお越し下さい！

給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。

<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

TEL 0875-63-3311（人事担当：竹中）

医療法人社団和風会 橋本病院  
〒768-0103  
香川県三豊市山本町財田西902番地1

TEL：0875-63-3311

FAX：0875-63-2651

入院相談直通電話：0875-63-3552

E-mail：hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp

HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp

発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
療 認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーションセンターはしもと  
訪問リハビリテーションセンターはしもと

